



3.6mアンテナモニュメント



記念撮影

「3.6m アンテナモニュメント・宙の家完成記念式典」に出席

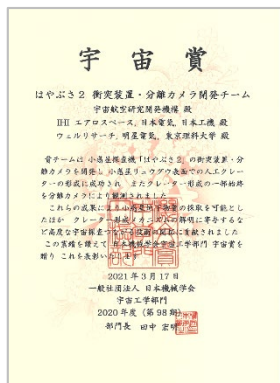
4月2日、鹿児島県肝付町より「3.6mアンテナモニュメント・宙の家完成記念式典」の招待を受け、当社の池山社長が出席しました。

このアンテナは、明星電気が宇宙航空研究開発機構(JAXA)の内之浦宇宙空間観測所にロケット追尾用レーダアンテナとして開発・納入し、1980年に運用を開始したものです。その後、テレメータ用アンテナとして改造され、数々のロケットのテレメータデータを受信して2010年に運用を終了しました。観測所のある肝付町では、日本の宇宙開発の歴史において、このアンテナが果たしてきた役割を後世に伝え残すべく、2020年にJAXAから譲り受け、移設展示することになりました。

式典では、JAXA内之浦宇宙空間観測所の和光所長代理から「このアンテナはビーム幅が広く、受信性能も良く大変使いやすかった」とのお言葉をいただきました。

明星電気は培った技術とノウハウを活かし、宇宙開発の発展に貢献していきます。

(担当:宇宙防衛事業部、総務人事部)



表彰状

日本機械学会宇宙工学部門宇宙賞を受賞

当社は、一般社団法人日本機械学会宇宙工学部門の選定による宇宙賞を受賞しました。

これは、宇宙工学の分野で機械工学に関連する学術研究や先駆的な技術開発・活動を行った個人または団体に贈られる賞です。小惑星探査機「はやぶさ2」衝突装置・分離カメラ開発チームの一員として、宇宙航空研究開発機構(JAXA)をはじめ4社1大学とともに、小惑星リュウグウにおける人工クレーター形成と形成メカニズムの解明への寄与により、受賞・表彰されたものです。

明星電気は、「はやぶさ2」において、分離カメラに内蔵される理学観測用カメラ(デジタル系)の開発を担当しました。これからも宇宙探査技術の開発にチャレンジしていきます。

(担当:宇宙防衛事業部)



番組撮影中の様子

NHKBSプレミアム コズミックフロントに当社社員が出演

4月8日に放送されたNHKBSプレミアムの番組 コズミックフロント「8億年前の地球大異変月が教えてくれたこと」に当社社員が登場しました。この社員が、大学院生時代に解析した月周回衛星「かぐや」のデータをもとに、大学研究者らが発表した大胆な説が紹介されています。

8億年前に“無数の隕石”が地球と月にシャワーのように降り注いだというもので、その総量は6600万年前に恐竜を絶滅させた隕石の30~60倍に達したとされ、後の気候変動や生命の多様化・複雑化との関係にも注目が集まっています。研究者たちは、「かぐや」のデータを古文書のように読み解き、さまざまな研究をつなぐことで壮大なストーリーを浮かびあがらせました。

この「かぐや」に搭載した15のミッション機器のうち、ハイビジョンカメラを含む8機器を明星電気が担当しています。今後も数々の宇宙の謎の解明に貢献していきます。

(担当:総務人事部)

【文中:敬称略】

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により、革新的な商品・サービスを創造し、安全・安心な社会の発展に貢献していきます。